



6月3日(月)、剣崎小学校全校児童による、江奈湾の海岸清掃が行われました。子どもたちは先生から体育館前で、「なぜ海岸清掃が必要なのか」について説明を聞いたのち、学校の前の海まで向かい、先生たちの付き添いと指導のもと、ごみを拾いました。

中には、児童が持てないような重いごみもありましたが、皆で協力し合い、約30分かけて海岸をきれいにしました。

グラウンドに帰ってきたあと、五十嵐校長先生が、「剣崎小学校に通う人たちは海にごみが捨てられていたら拾う、磯観察に行っても生き物をやさしく返してあげることが出来る人たちです。是非、そんな剣崎小学校の一人なのだという自信と誇りを持ってもらいたいと思います。ごみを捨てない、また、捨てないように他の人に呼び掛けましょう」とお話しされました。

【江奈湾で見つけたもの一覧】

紙、牛乳パック、ペットボトル、大きな冷蔵庫のかけら、バケツ、スーパーマーケットのかごのような物など。



5月22日(水)、南下浦中学校の1年生が、矢作海岸からソレイユの丘まで、ウォークラリーを行いました。矢作海岸では、磯観察や海浜植物の観察を行いました。



同じく22日(水)に、初声中学校の1年生が、ソレイユの丘から矢作海岸までのウォークラリーを行いました。生徒は、小学校時代に、磯観察を行った矢作海岸で、楽しそうに、磯の生き物を観察していました。



この日は、2つの中学校が連絡を取り合って、矢作海岸とソレイユの丘をクロスした計画を実現しました。

お願い 本研究所では、海洋教育写真コンテストを実施するためのクラウドファンディング(インターネット上での募金)を行っています。このコンテストを実施するために、皆さんのご協力が必要です。3000円から参加できます。リターン(お礼の品物)もあります。あと一息で、目標額が達成されます。よろしく願いいたします。



ご協力いただける方は、本研究所(854-9443)にご連絡くだされば、すぐに対応いたします。クラウドファンディングの内容を知りたい方は、右のQRコード、もしくは次のURL(<https://readyfor.jp/projects/umishakon31>)からアクセスできます。

(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで